



第92号

町長のしごと日記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【コロナ後を見据えて、今を生きる・・・】

秀峰大千軒岳は残雪を白く頂に描いておりませんが、周りの山々や福島峠の周辺では日を追うごとに緑の深みを増してきております。

この前までは朝日も海から顔を出しておりましたが、最近では山肌から顔を出すように変化してきており、日々の流れの中で日が長くなっているのを感じております。

四月二十三日(日)、東京都のアルカディア市ヶ谷(私学会館)において、第二十三回北海道福島会が開催され、お招きをいただき参加してまいりました。

当会は、新型コロナウイルス感染症の影響により三年間中止が続き、四年ぶりの開催となっております。

当日は、鎌田会長ほか四十名ほどの会員が関東全域から参加し、総会の後、懇親会が行われ、挨拶の中でふるさとの近況を報告させていただきました。

参加者の皆様は、四年ぶりといいこともあり、久々の再会に話に花を咲かせるとともに、ふるさと談議など福島に思いを馳せておりました。

翌日の二十四日(月)には、溝部議長ほか議員の皆様と共に、国土交通省北海道局を訪問し、橋本局長に対し白神防災道路の事業採択のお礼と事業推進の要請を行ってきました。また、逢坂誠二衆議院議員事務所及び長谷川岳参議院議員事務所を訪問し、同様の要請を行ってきました。

また、同日の午後から東京から札幌に移動し、HBCラジオの5丁目STATION ONアキトム!(3年生)に出演させていただきました。小橋亜樹さんに「福島町するめ大使」、中野智樹さんへ「福島町いかとんび応援団長」の辞令を交付させていただきました。

番組の中で久々にアキさ

ん・トムさんに再会し、青の洞窟を巡る岩部クルーズや女だけの相撲大会など、福島町の魅力をアピールさせていただきました。また、小橋亜樹さんには女だけの相撲大会への出演、中野智樹さんは秋のイベントの支援をお願いしておりますので、皆さん楽しみにしてください。

五月三日(水)に、福島町千軒地域活性化実行会主催の「第三十七回殿様街道探訪ウォークin春」が開催され、全道各地から三十名の方々の参加がありました。私も千軒岳登山入口の広場で行われた開会式に参加をさせていただきました。殿様街道は、日本山岳会が選ぶ日本の古道120選に決定されております。

江戸時代に松前から函館に至る街道蝦夷地の幹線道路で、福島から知内に至る道路は難所といわれ、松前藩主が通ったことから通称

「殿様街道」と呼ばれております。蠣崎波響がこよなく愛した道とも言われています。この古道は、歴史の偉人が駆け抜け、蠣崎波響や土方歳三など日本の歴史を刻んできた人々が、古の殿様街道を歩いた歴史が記録されております。参加者たちは、残雪が残る大千軒岳を仰ぎ見ながら、歴史を感じ、また、素晴らしい千軒の自然を楽しみ、ウォーキング後は、松前神楽を堪能し、千軒そばに舌鼓を打っておりました。

新型コロナウイルス感染症が世界で初めて確認されてから四年目を迎えます。五月八日からは五類に位置づけられ大きく変化したしました。私たちは、コロナという逆境を乗り越えて今を生きております。「一心万宝に勝る」という言葉があります。今の時代を生きる一人として、与えられた大切な命を力いっぱい生きましよう。